健康経営に関する取り組みと関連指標

アクサのパーパス「すべての人々のより良い未来のために。私たちはみなさんの大切なものを守ります。」を体現するために、従業員が心身ともに健康で健全に働ける職場づくりを目指し、施策を実施しています。施策の進捗状況に際し、5つの健康指標を設定。併せて関連データでも進捗状況を確認しています。

１．５つの健康指標（KPI）の取り組みと関連データ

定期健康診断受診率100%に向けた取り組み

・健診の早期受診を促すため、未予約者に対して定期的なリマインドメール配信とともに、部門へ未予約者リストを連携し、受診勧奨を実施
・予約キャンセル等で年度末までに受診完了できない人がいたことから、2023年度より予約と受診締切日を前倒し、受診未完了者に対して早期受診を個別案内するとともに、所属長からのサポートも依頼
・定期健康診断の受診を徹底するため、100%を目標とする

計測している指標	目標値	実績値			
		2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
定期健診受診率	100%	99.1%	99.3%	99.2%	99.4%

要再検査・要精密検査等二次健診が必要な社員への受診勧奨

・二次健診は初回のみ就業時間内受診を認め、最大3,000円を費用補助
・二次健診未受診者には定期的にリマインドメールや人事部門による受診勧奨を実施
・2023年度はKPIの80%を達成。本水準を維持するため、KPIは80%とし、未受診者を減らすための取り組みを継続
・二次健診受診率向上に伴い、未治療者が減少。高血圧の人のコントロール率も上昇傾向にある

計測している指標	目標値	実績値			
		2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
二次健診受診率	80%以上※1	83.4%	77.5%	71.0%	47.7%
血圧リスク者率※2	0%	0.5%	0.4%	0.5%	0.7%
糖尿病管理不良者率※3	0%	1.2%	1.4%	1.4%	1.7%
高血圧者のうち治療中率※4	85%以上	84.7%	86.6%	80.9%	84.7%
高血圧のうちコントロール率※5	73.0%	64.5%	63.8%	58.1%	56.7%

※1：目標値は2022年度までは70%、2023年度は80%
※2：収縮期血圧 180 mmHg以上または拡張期血圧 110 mmHg以上の人の割合（40歳未満含む）
※3：HbA1cが8.0%以上の人の割合
※4：高血圧治療中者(高血圧治療中者+高血圧未治療者：収縮期血圧160以上または拡張期血圧100以上）（40歳未満含む）
※5：高血圧治療中で収縮期血圧140未満かつ拡張期血圧90未満の者/(高血圧治療中者+高血圧未治療者：収縮期血圧160以上または拡張期血圧100以上）（40歳未満含む）

特定保健指導実施率向上のための取り組み

・国で定められている実施率目標（単一健保：55%）を目標値とする
・未実施者については定期的なリマインドを実施し、対象者を部門長へ連携して職制を通じた受診勧奨も実施
・就業時間内に実施可能な環境を整備

計測している指標	目標値	実績値			
		2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
特定保健指導実施率※1	55%以上	80.2%	70.2%	70.9%	31.2%

※1：アクサ生命の在籍基準に基づき集計

喫煙率低下のための取り組み

・就業規則で就業時間内禁煙と定めている
・喫煙者に対しては健康保険組合による各種禁煙サポートプログラムを提供
（オンライン禁煙サポート：費用57,000円を補助、禁煙外来サポート/禁煙補助薬サポート：15,000円を限度に実費補助）
・非喫煙者に対してインセンティブ付与を実施
・継続して喫煙率低下を目指すため、ホワイト500認定企業の喫煙率*と同等水準を目標とする

計測している指標	目標値	実績値			
		2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
喫煙率	20%以下	25.6%	25.7%	26.1%	27.1%

*第10回 健康投資ワーキンググループ資料より

ストレスチェック受検推進のための取り組み

・未受検者に対して定期的なリマインドメール送信

計測している指標	目標値	実績値			
		2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
ストレスチェック受検率	90%以上	97.9%	97.3%	96.7%	93.9%

２．健康課題に対する取り組みと関連データ

「運動」「食事」「メンタルヘルス」「がん対策」「女性の健康」を主な軸として、さまざまな取り組みを行っている。

運動習慣改善のための取り組み

・気軽に行える運動やストレッチについて学べる動画をセミナーの冒頭で紹介
・健康アプリを活用したウォーキングイベントを健康保険組合と協働開催

目標指標	2025年度目標値	実績値			
		2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
運動習慣ありと回答※1	前年比改善	58.0%	57.0%	56.0%	52.0%
運動習慣者比率※2	前年比改善	26.3%	25.3%	24.5%	21.0%
適正体重維持率※3	65%以上	62.8%	63.2%	63.7%	63.5%

※1：従業員健康習慣アンケートの運動習慣に関する設問で「維持期」「行動期」の割合の合計値（40歳未満含む）
※2：特定健診問診票で1週間に2回、1回当たり30分以上の運動を実施している人の割合（40歳以上）
※3：BMIが18.5～25未満の人の割合(40歳未満含む)

食習慣改善のための取り組み

・食事や食材に関する話題をセミナーで紹介
・食材の栄養に関する情報提供とともに、栄養士監修の食事アプリ(あすけんプレミアム)を無料で利用可能な環境を整備
・本社内コンビニエンスストアと連携をし、産業医や保健師監修のおすすめ健康メニューを作成、店内と社内イントラに掲示

目標指標	2025年度目標値	実績値			
		2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
食習慣に気を付けている人の割合※1	前年比改善	72%	72%	72%	66%
「最初に野菜を摂取、よく噛んで食べることを実施しているか」※2	前年比改善	60%	59%	58%	55%

※1：従業員健康習慣アンケートの食習慣に関する設問で「維持期」「行動期」の割合の合計値（40歳未満含む）
※2：従業員健康習慣アンケートで「いつもそうしている」+「よくそうしている」の割合（40歳未満含む）

メンタルヘルスに関する取り組み

・社内相談窓口として産業医や保健師、社内カウンセラーが対応可能な環境を整備
・社外相談窓口（24時間対応）も設置
・メンタルヘルスオンラインセミナーやe-leaningを実施

目標指標	2025年度目標値	実績値			
		2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
高ストレス者比率	10.0%	12.7%	13.7%	12.9%	11.5%
セルフケア研修参加率	100%	95.6%	91.9%	89.4%	93.8%
ラインケア研修参加率	100%	92.4%	85.8%	83.0%	83.9%

がん対策に関する取り組み

・定期健康診断の検査項目にがん検診を含め、就業時間内に自己負担なしで受診可能な環境を整備
・胃がん検診は実施可能な医療機関であれば自己負担なしで胃内視鏡検査を受診することが可能
・がん検診の重要性を理解するためのオンラインセミナーや衛生委員会資料等で情報提供を実施

計測している指標	目標値	実績値			
		2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
胃がん検診受診率※1	前年比改善	86.3%	86.5%	87.0%	80.3%
大腸がん検診受診率※2	前年比改善	93.4%	93.4%	93.7%	91.0%
乳がん検診受診率※3	前年比改善	89.7%	89.6%	90.5%	87.7%
子宮がん検診受診率※4	前年比改善	78.4%	78.2%	81.0%	75.3%

※1、※2：35歳以上対象　※3：35歳以上女性対象　※4：20歳以上女性対象

女性の健康に関する取り組み

・ヘルスリテラシー向上のために全従業員を対象としたe-learningを実施
・女性特有の疾患や健康に関する、専門家によるオンラインセミナーや動画

目標指標	2025年度目標値	実績値			
		2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
e-learning実施率	前年比改善	93.5%	92.6%	-	-

【人数および実施率】 2023年度：全従業員8,307人が対象。実施者数7,767人

３．従業員の生産性、意識・行動変容から導き出される指標

パフォーマンスに関する指標					
目標指標	2025年度 目標値	実績値			
		2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
アブセンティーイズム	3日以下	4.3日	3.8日	3.0日	3.5日
プレゼンティーイズム	20%以下	29.0%	28.0%	26.0%	31.0%
ワーク・エンゲジジメント	3点以上	2.8点	2.8点	2.9点	2.9点

【測定方法】
アブセンティーイズム：傷病による平均欠勤日数
プレゼンティーイズム：東京大学1項目版による生産性低下率
ワーク・エンゲイジメント：新職業性ストレス簡易調査票のワーク・エンゲイジメントに関する設問（2項目）によるスコア
【測定人数および回答率（2023年度）】
アブセンティーイズム：全従業員8,347人が対象。回答者数8,020人（回答率96%）
プレゼンティーイズム：全従業員8,347人が対象。回答者数8,020人（回答率96%）
ワーク・エンゲイジメント：全従業員7,861人が対象。回答者数7,697人（回答率97.9%）

社員の意識・行動変容に関する指標					
目標指標	2025年度 目標値	実績値			
		2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
健康習慣アンケート実施率	前年比改善	96.0%	92.0%	94.0%	92.0%
健康通信の認知度※1	前年比改善	96.4%	98.0%	98.3%	97.8%

※1：従業員アンケートで健康通信のことを「知っている」と回答した人の割合

４．就業関連

就業に関する指標					
目標指標	2025年度 目標値	実績値			
		2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
主観的健康観※1 ※2	50.0%	51.5%	46.0%	47.0%	47.0%
傷病による休職者数	-	182人	164人	160人	141人
平均勤続年数（内勤社員）	-	12.8年	13.8年	12.9年	13.5年
仕事満足度※1	3.0点	2.9点	2.8点	2.9点	2.8点
時間外労働時間（月平均）	前年比改善	13時間	13時間	13時間	13時間
有給休暇取得率	前年比改善	60%	58%	48%	48%

※1：従業員健康習慣アンケート調査によるスコア
※2：設問「会社の同僚や友人に比べて生活習慣を気を付けている方だと思いますか？」に対し、「とてもそう思う」＋「そう思う」と回答した人の割合

５．労働安全衛生関連

労働安全衛生に関する指標				
・本社ならびに50名以上の各事業所において衛生委員会を毎月実施し、議事録を作成、社内イントラに掲載 ・50名未満の事業所においても衛生推進者を定め、4半期に一回、衛生懇談会を実施 ・業務上や通勤途上の災害申請の内訳は転倒が半数。申請件数や申請内容について衛生委員会資料に掲載、従業員へ注意喚起				
	2023年度	2022年度	2021年度	2020年度
労働災害発生件数(集計期間：1月～12月)	110件	75件	77件	89件

６．健康経営施策

個人と組織の成長を実現できる活力ある職場風土を実現、および個人のパフォーマンス向上といった経営課題に対応するため、アブセンティーイズム、プレゼンティーイズムの低減、およびワークエンゲイジメントの向上を目指しています。
プレゼンティーイズムは従業員の生産性を表し、生活習慣病やメンタルヘルスとも関連があることから、従業員に実施している健康習慣アンケートおいて状況を確認し、2023年は29%と過去と比較すると横ばいであり、従業員のパフォーマンスの向上に結びつくよう、取り組みを継続推進してまいります。

生活習慣病への取り組み

生活習慣病に繋がる健康状態が、生産性やパフォーマンスへ影響を及ぼす要因であることから、生活習慣病の発症リスクが高いと判定された従業員への特定保健指導を促している。
特定保健指導の実施率は2020年から大きく上昇し、実施対象者も減少してきているものの、特定保健指導の実施率を更に上げることで、生活習慣病予防を行う。

そのために、定期健康診断の結果、特定保健指導対象となった従業員には特定保健指導の実施を行う。未実施の従業員には定期的なリマインドだけではなく、経営会議において、実施状況の報告にとどまらず、傘下部門に対して参加を促すよう依頼をし、実施率の向上につなげている。

また、40歳未満で生活習慣病のリスクが高い従業員に対しても、若年層保健指導を実施し、早い段階での生活習慣病予防を行う。

メンタルヘルスの取り組み

ストレスチェックは、殆どの従業員が受検をしており、メンタルヘルスの状況を確認できている。加えて、メンタルヘルスに関する知識を得る場としての、セルフケアおよびラインケア研修も直近では90%を超える従業員が受けている。

これに伴い、ストレスチェックの結果からも上司のサポートがなされていることも確認できているのに対し、高ストレス者と判定される従業員の比率は、12.7%と過去二年から減少はしているものの、横ばい傾向にある。

メンタルヘルスへの対応として、社外相談窓口の設置および産業医・保健師・カウンセラーによる社内相談窓口に加え、自身のこころの健康を保つための情報を研修にとどまらず、健康通信でも提供。さらに、2023年4月から導入のWe Careプログラム*により、ライフイベントへの支援をすることで、従業員が抱え得る様々な場面における、ストレスの発生を軽減することを狙う。

*We Careプログラムについて

「健康経営アクサ式」を提供しているアクサ生命では、定期的に社内向けにもライフプランセミナー実施など、従業員一人ひとりが人生100年時代を人生を経営する視点をもって幸せに過ごしていけるよう、社内と社外の取り組みを連携して進めています。